



# 子供が自立し

# みんなの活躍で創り上げる学校



主体性

自律性

協働性

校長 島 章人

## 「油エネルギー大作戦」から「歯ブラシリサイクルプログラム」へ

家庭で使った食用油からバイオディーゼル燃料へ再利用する「油エネルギー大作戦」でのご協力ありがとうございました。お陰様で、今回集まった食用油は40リットル弱でした。今回の取組は、本校の環境保全委員会が主体となり、「ワクワク油田荒尾市プロジェクト」に学校として参加するというものです。第1回は9/9～9/13まででしたが、第2回が11/5～11/8、第3回が1/20～1/24となっています。引き続き、ご協力よろしくお願いします。

先日、6年生が数人、「校長先生にお願いがあります。LIONのホームページに『歯ブラシリサイクルプログラム』というのがあったので、学校で取り組んでいいですか。」というのです。しかも、しっかり者の6年生は、タブレットでそのホームページを示し、「使い終わった歯ブラシを集めてLIONに送ると、ほらっ、こんな植木鉢にリサイクルしてもらえます。」と準備万端の説明をしてきました。とどめに「環境にも優しいし、WIN-WINですね。」と説得にかかってくるので、こちらもたまらず、「校長先生はいいと思う。後は、保健委員会の先生と環境保全委員会の先生にOKをもらってね。」という、「もうOKをもらいました。」だそうです。主体性とか自律性とか協働性とか、子供たちのこんな姿のことを言うんだろうなあ、とうれしく思いました。もうじき、歯ブラシ回収のお願いがあるかと思えます。その時にはご協力をお願いします。



LIONのホームページから

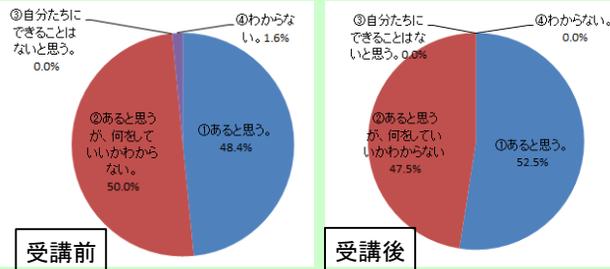
## 認知症サポーター養成講座受講アンケート

夏休み前のことになりますが、7月12日(金)、荒尾市の保険介護課の方、居宅介護支援センターの方などを講師としてお招きし、4年生を対象に「認知症サポーター養成講座」が開かれました。

認知症とはどんな病気なのか、どのように支えていけばいいのかをわかりやすく教えていただきました。そして今回、受講後のアンケートの結果が届きました。少し見てみます。



【あなたは家族や親戚、近所の人が認知症になったら、あなたにできる事があると思いますか。】



左の結果を見てみると、受講前と後で、あまり変わっていないようにも見えます。しかし、認知症のことを「家族のことをわすれたり何回言っても伝わらない病気」「物をどこにやったか分からなくなって人のせいにする病気」と思っていた4年生が、「認知症になってしまった人は、全てを忘れてしまうのではなく、覚えてるものは覚えている。ただど忘れていても優しく声をかけて一緒に探すよと言ってあげたいです。」と感想を書きました。問題の所在を患者や病気に置くのではなく、自分にできることを考えたところに、この学習の意味があると思いました。

## 三角小学校との交流

9月13日(金)に、6年生は三角西港に見学に行き、宇城市立三角小学校の6年生にガイドをしてもらいました。三角西港は、万田坑と同じく、平成27年に「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録されました。同じ世界遺産と言うことで、数年前から三角小学校との交流を行っています。お互いの世界遺産を紹介し合うことで、郷土を愛する心情や説明の技術を更に高めてほしいと思います。

さて、どんな学びができたのか？引率した先生に聞くと、「とにかく暑かった！」と。三角小の校長先生からも、「熱中症が心配なので。」と色々配慮いただいていたのですが、尋常ではないこの暑さ！三角小にもご心配をおかけしました。

